

文の あたま

ステップ1

◆文の あたまに ついて べんきょう します。

「くは」や「くが」となっている ところが 文の あたまです。文の あたまに せんを ひきましよう。

① おかあさんは おかいもの に 行った。

② ことが ないた。

③ にわで ことが ないた。

④ いけに かえるが とびこんだ。

⑤ あめが ふったので、ぼくは かさを
さした

⑥ あめが ふったので、かさを さした。

文の あたま

ステップ2

◆文の あたまの ことを「主語（しゅご）」と いいま
す。つぎの きまりを、なぞりがきしましょう。

きまり

主語（しゅご）

文の あたまの こと。

「くは」や「くが」が

くつつくことが おおいです。

しゅごが ない ときも

あります。さくぶんを かく

ときは、しゅごが あったほう

が いみが わかりやすく

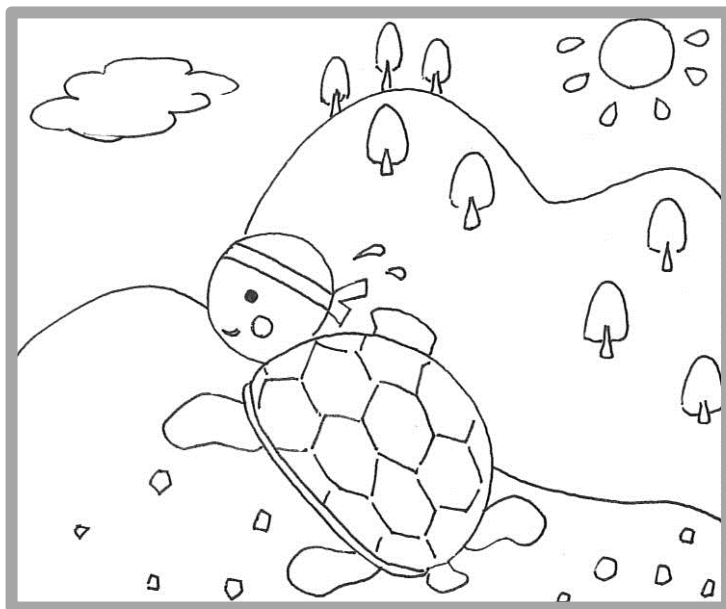
なります。

文の あたま

ステップ 3

◆えを見て、「うは」「うが」のある文を かいて
みましょう。

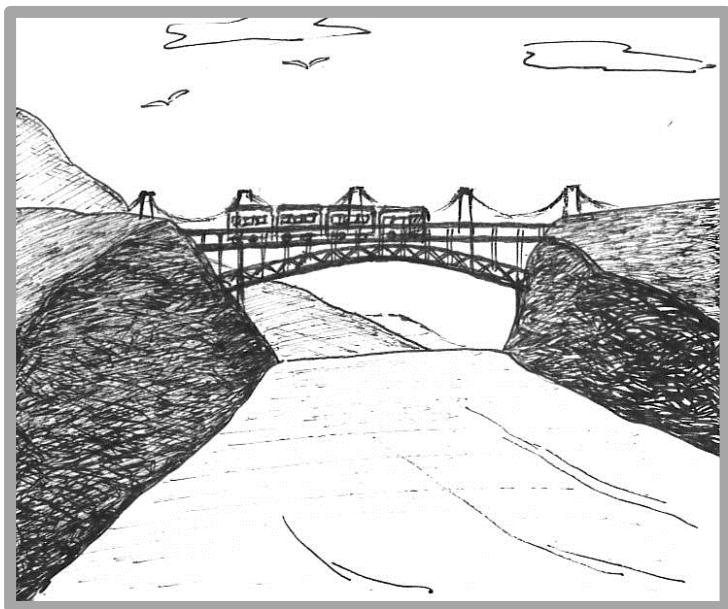
①



②



③



④

